

けんせつ字都宮

CONSTRUCTION

vol. **314**

2019

【題字】宇都宮市長 佐藤栄一 様





平成31年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 増 潤 薫

あけましておめでとうございます。平成31年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当会の運営にご理解、ご協力を頂戴し、厚く感謝を申し上げますとともに、本年も一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年も日本列島は大きな自然災害に見舞われました。2月に北陸地方を襲った記録的な大雪を始め、6月の「大阪北部地震」や9月の「北海道胆振東部地震」と大きな地震が相次ぎ、7月には平成最悪の水害と報道された「西日本豪雨」が発生し、この国が「災害の国」であることを改めて思い知らされたところでもあります。

一方、景気動向では雇用環境の改善とともに働く人全体の所得が増え、戦後2位の「いざなぎ景気」の回復期間を超えたといわれておりました。しかし、地方では人口減少や高齢化社会の進展とともに停滞感や閉塞感が強まり、都市と地方の格差がますます拡大していくなかで、景気回復の実感が得られない状況でありました。

また、6月に「働き方改革関連法案」が、12月には外国人受け入れ拡大を目指す「改正出入国管理法」が国会において可決成立しました。

とりわけ「働き方改革」については、これまで機会があるたびに述べてまいりましたが、一定の長時間労働が避けられないとされてきた建設業界にも、5年間の猶予期間（2019年4月改正労働基準法の施行）があるものの、時間外労働の罰則付き上限規制が適用されることになります。

建設業界は、新規入職者の減少や高い離職率等、労働力不足が恒常化しつつあるなかで、将来にわたって担い手を確保・育成していくには、長時間労働の是正や週休二日制の確保等の労働環境改善への取り組みや現場の高度化や効率化を図るICT建機の活用など生産性向上に向けた取り組みが必要不可欠であり、今後、外国人の労働力を欲する業界と共存を図りながら、建設業界が一丸となって「働き方改革」の環境整備を進めていかなければならないと強く思うところであります。

ご承知のとおり、私ども地方建設業は、地域インフラの安定的な整備や維持管理を行う地域の担い手であるとともに、災害時の緊急対応や除雪作業など地域社会の安全・安心を守るという社会的使命を担っております。こうした社会貢献活動等を将来にわたって継続していくためには、何といても健全で安定した経営基盤の構築が必要であり、適正利潤の確保を謳った改正品確法の徹底や安定的・持続的な事業量の確保に向けて、発注当局等関係機関に対して強く要望していく所存でありますので、会員皆様の一層のご支援・ご協力をお願いする次第であります。

最後に、新しい年が希望に満ちた素晴らしい年でありますようお祈り申し上げますとともに、会員皆様方のご健勝と更なるご発展・ご活躍を祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。



平成31年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月15日を「いちご王国・栃木の日」と宣言し、戦略的なプロモーションを展開するとともに、4月から6月までJRグループと協働し、市町や関係機関、県民の皆様とオールとちぎで「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン（DC）に取り組んだほか、夏には関西圏等における情報発信拠点として大阪センターを開所するなど、とちぎの魅力・実力を広く国内外にアピールして参りました。

さて、今年は、栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15（いちご）戦略」が最終年度を迎えることから、戦略の総仕上げを行うとともに、4年目となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に掲げる各プロジェクトの更なる推進を図ることとし、「①とちぎの未来創生に向けた施策の推進」、「②安全・安心なとちぎづくり」、「③東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、第77回国民体育大会『いちご一会（いちえ）とちぎ国体』と第22回全国障害者スポーツ大会『いちご一会（いちえ）とちぎ大会』に向けた着実な取組」の3点を重点事項として取り組み、本県の将来像である「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」づくりを一層進めて参ります。

こうした取組を着実に進めることで、活力と魅力あふれる“とちぎ”をつくり、県民の皆様一人ひとりが、とちぎに暮らしていてよかったと思うとともに、ふるさと“とちぎ”に愛着と誇りを持っていただけるよう、全身全霊を傾けて取り組んで参りますので、皆様のより一層の御理解、御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって実り多き素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。



宇都宮市長
佐藤 栄一

年頭に当たり、本年が皆様にとって明るく、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年は、今後の人口減少・超高齢化などの厳しい社会環境に対応するため、本市のまちづくりの羅針盤である「第6次総合計画」の重点的な取組として掲げた『ネットワーク型コンパクトシティが支える共生社会創出』、『ICTで暮らしもまちも元気』、『ブランド発掘・創造・発信』の3つの「まちづくり好循環プロジェクト」を推進してまいります。

具体的には、JR宇都駅東口地区整備を始めとする拠点化の促進や、LR Tの整備などによる公共交通ネットワークの構築を図り、その強みを活かした地域包括ケアシステムの深化などによって、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。また、AIなどを活用した市民生活の利便性向上、ICTの利活用促進による地域産業の成長支援を図るとともに、石の里「大谷」の振興を始めとした世界に誇れる観光地づくりや、災害に強い強靱なまちづくりなどを推進することで、100年先の時代まで持続的に発展していけるよう、市民・事業者の皆様とオール宇都宮で市政運営に取り組んでまいります。



上三川町長
星野 光利

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、心からお慶び申し上げます。また、宇都宮建設業協会の皆様には、平素から本町の社会資本整備の推進につきまして、格別のご支援、ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、西日本豪雨をはじめ、大規模地震、強い台風が相次いで襲来するなど、近年希に見る災害の多い年でありました。本町の基本理念のひとつである「安心・安全のまちづくり」には、それら災害から町民を守るべく社会資本整備が不可欠であり、今年も引き続き河川改修等による雨水対策など災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、地域の振興と雇用確保のため進めてまいりました「上三川インター南産業団地」が、3年後の分譲開始に向けて本格的に整備が始まります。今日、企業においては、BCP（事業継続計画）への注目が高まっています。自然災害が少なく交通の利便性が良い本町は、BCP対策として最適なロケーションであり、その優位性を発信し町の発展のために取り組んでまいります。

今後も、町の将来像「共に創る 次代に輝く 安心・安全のまち」の実現のため、将来への投資である社会資本整備を推進してまいりますので、皆様におかれましても昨年と変わらぬご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宇都宮建設業協会の皆様の一層のご健勝と、ご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

委員会 活動報告

協会活動の正しい理解と活性化のために！

総務委員会

今年度の総務委員会の主な活動は以下のとおりです。

- ・広報誌「けんせつ宇都宮」の発刊
「けんせつ宇都宮」は（一社）宇都宮建設業協会の活動や会員企業の動向などを広く地域の皆様や発注機関に知っていただくためのもので、年間3回（1、6、11月）発刊しています。

- ・研修会の計画・実施

今年度は現在宇都宮市が進めているL R T事業への積極的な協力と正しい理解のため、広島市と松山市のL R Tの視察、試乗の研修会を実施しました。会員企業からは24社の参加があり、多数の参加企業から「宇都宮市の事業への期待がより大きなものになった。」と評価がありました。

- ・インターンシップの受入対応

今年度は県内の工業系高校7校（宇都宮工業、宇都宮白楊、真岡工業、栃木農業、今市工業、小山北桜、那須清峰）より46名の高校生を会員企業38社で9月から11月にかけて受け入れました。研修期間は各校各学科とも月曜日から金曜日までの5日間であり、未来の建設技術者育成のための有効な指導・教育を実施することができました。

（阿久津）

地域の守り手として！

建設委員会

建設委員会は、今年も「地域の守り手」として災害や鳥インフルエンザに即対応できるように備えています。また、「愛りバーとちぎ河川清掃活動」などを通して社会貢献を継続してまいります。

【通年】災害等への対応・待機

【3月・5月・9月】愛りバーとちぎ清掃活動

【6月・11月】栃木県河内地域鳥インフルエンザ及び口蹄疫対策連絡会議への出席

【6月】宇都宮土木事務所・宇都宮市役所・宇都宮建設業協会合同による「道路河川等管理情報システム」を利用した災害時対応訓練の実施

【7月】宇都宮市水防訓練への参加、川の日「田川クリーンアップ大作戦」の実施

【8月】宇都宮市総合防災訓練への参加

【11月】土木の日クリーンアップキャンペーンの実施

（荒井）

安全意識の更なる向上！

安全委員会

安全委員会の活動としましては、毎月1回の安全パトロールの実施、建災防栃木県支部並びに宇都宮分会主催行事の設営等の協力、暴力団対策と交通安全に関する講習会の開催等があります。

【4月・5月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール

【8月・11月・1月】非公開パトロール

【7月・2月】公開パトロール

【10月】合同公開パトロール

【7月】安全管理者講習会の開催

【9月】建災防栃木県支部安全大会の設営協力

【10月】建災防栃木県支部宇都宮分会安全対策セミナーの開催

【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会の開催

今後も労働災害の撲滅を目指して、会員各社の安全対策の推進を図ってまいります。

（櫻井）

社会に必要とされる協会を目指して

協組促進委員会

2018年度の協組促進委員会は、宇都宮建設業協会と宇都宮建設業協同組合の双方の社会的存在価値を高めることを目的に掲げ、新たなメンバーでスタートしました。

今年度の委員会の重点活動は、宇都宮の明るい未来を予感させる“L R T”事業の理解を深めるための研修会を開催しました。

今後も、我々が住み暮らす宇都宮のために、当委員会は、自由な想像力を活かした新しい取り組みなどの企画提案をしてまいります。

【主な活動】①栃木県・宇都宮市からの業務委託・共同受注の営業強化

②宇都宮市におけるL R T事業の理解を深める研修会の実施

③会員拡大

（増渕）

青年の会 活動報告

宇都宮マラソン大会

2018.11.18日

第32回宇都宮マラソン大会が晴天の中、盛大に開催されました。

今回のゲストランナーには、ランニングタレントとしてテレビなどで活動中の中村優さんをお迎えし、大会を大いに盛り上げていただきました。

宇都宮建設業青年の会メンバーは、ハーフマラソンで使用するメイン道路の規制を行いました。コース設営は、26年もの永きにわたり毎年行っており、安全でスモー



ズなコース設営で、今年も大勢のランナーの快適な走りに貢献することができました。

競技中は、疾走するランナーを応援する姿があったり、地元特産品や



観光ブースなどの賑わいを感じたりと、地元宇都宮のPRにつながっていることを実感しました。

大会終了後は、参加者を対象に豪華賞品が当たる大抽選会が開催され、大盛り上がりの中幕を閉じました。

宇都宮建設業青年の会は、歩みを止めることなく今後も地元スポーツ文化振興や、地域貢献に積極的に取り組んでまいります。

(原)

園児に建設業の仕事体験

2018.12.6木

『砂場クリーン大作戦』

宇都宮建設業青年の会は12月6日、総合学習支援活動『砂場クリーン大作戦』を宇都宮市上田原にある、ゆりかごきずな一さりすくーるにて開催しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、庭野会長をはじめ20名の会員が集まり、建設業の仕事がわかる『紙芝居』や砂場の砂を園児たちと一緒にふるいを使い、砂場に混入されている石や木くずなどを除去して、子供たちが安心して遊べる環境づくりに貢献しました。



最後は、子供たちがずっと気になっていて、待ちに待った重機の搭乗体験でした。

すべてにおいて好評をいただき、園児たちの笑顔に元気をたくさんいただけてきました。

(佐々木)



第5回
愛リバーとちぎ
河川清掃活動

2018.11.16(金)

快適な道路、河川環境の維持のために～土木の日クリーンアップキャンペーン～

宇都宮建設業協会は11月16日(金)、「土木の日クリーンアップキャンペーン」、「愛リバーとちぎ・第5回河川清掃活動」を実施しました。

会員企業と県宇都宮土木事務所から約100人が参加し、市内中心部の大通りや田川の一斉清掃を行いました。

参加者は11班に分かれ、大通りと鬼怒通りの両側歩道（桜通り交差点・駅東国道4号線～県庁前）、宇都

宮地方裁判所前の公園、宮の橋付近の田川兩岸の河川敷（幸橋～押切橋）の清掃を行いました。

歩道では植え込みや路肩に落ちた小さなゴミまで拾い集め、田川では草刈機を使い除草作業を行いました。

県都にふさわしい快適な道路、河川環境の維持に、参加者全員で取り組んだ清掃活動となりました。

(若林)



2018.9.10(月)～11.9(金)

未来の建設技術者育成のために～インターンシップ～

一般社団法人宇都宮建設業協会は高校生のインターンシップ事業を平成15年度より毎年継続的に実施している。インターンシップ事業は高校生が実際の産業現場における就業体験をととして、実質的な知識・技術・技能に触れ、働くことを肌で感じてもらい、仕事に対する心構えを築く教育活動であり、主体的な職業選択や高い職業意識の醸成に有意義な事業であると考えられている。

本年度は栃木県内7校9学科〈宇都宮工業高校環境土木科(10名)、宇都宮工業高校建築デザイン科(11名)、那須清峰高校建設工学科(1名)、今市工業高校建設工学科(3名)、宇都宮白楊高校農業工学科(9名)、真岡工業高校建設科(3名)、小山北桜高校造園土木科(1名)、小山北桜高校建築システム科(3名)、栃木農業高校農業土木科(5名)〉から46名の高校生を本会会員企業38社で受け入れ、未来の建設技術者育成のために、指導・教育を実施した。

生徒の事後アンケートでは、①働くことの大切さ②働くことの厳しさ③人間関係の重要性の順に学んだとなっており、事業の本来の目的が達成された結果となった。一方インターンシップを受け入れた企業側のアンケートでは①新鮮な気持ちになり、今までの業務内容を見直す機会となった。②若手社員を指導係にすることで、責任感が芽生え、また初心にかえって仕事と向き合うきっかけとなった。などの意見があり、企業側にも大きな意義のある事業であることが改めて明らかとなった。

(岩原)





2018.11.8(木)～10(土)

路面電車視察とサイクリング～宇建協研修旅行～

11月8日～10日の3日間、着工した宇都宮市のLRT事業に関連した施設視察と会員の親睦を目的に、広島から愛媛松山を巡る研修旅行に行っていました。

紅葉の始まった安芸の宮島厳島神社で旅の安全を祈願したのち、宮島から30分ほど路面電車に揺られ広島市内へ。車中ではたくさんの人々が電車を利用する様子に触れ、路面電車が広島の人たちに欠かせない存在であることを実感しました。広島の路面電車と同様、市民に必要な存在となれるよう、宇都宮のLRTにはより一層の期待が膨らみます。

広島から愛媛へは、瀬戸内しまなみ海道を利用しま



した。この瀬戸内しまなみ海道は知る人ぞ知る「サイクリストの聖地」で、全長70kmのサイクリングルートがあります。そのうちの、潮流激しい多々良海峡にかかる全長1,480mの多々良大橋を含め前後7kmの道のりを自転車で行くという、普段運動不足のおじさんたちには無謀？とも思える企画にチャレンジ。「ヘーヘー、ゼーゼー、ギャーギャー」いろんな奇声を発しながらも全員無事走破！自転車のまち宇都宮の建設者としての威信を風光明媚な瀬戸内に示しました。

松山では路面電車の工事の駅も視察することができ、大変有意義でかつ健康的な研修旅行となりました。(手塚)



若人 youth わこうど

「変化とともに」

日豊工業株式会社 取締役 轟 昂洋



この度は「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。本年度より宇都宮建設業青年の会に入会させていただきました日豊工業株式会社取締役の轟昂洋と申します。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

東京から宇都宮に電車でゆられて帰ってくると景色がカラーからモノクロに変わっていくような、そんなイメージを持っていました。

私は大学で歴史系の研究室に所属していたため、街の成り立ちについて考える機会が多かったです。歴史的に街を見てみると、古くは社寺仏閣を中心に発展した場所や、戦国時代、江戸時代では城を中心に、近代においては駅を中心とした街が多くを占めます。

現在の宇都宮においては宇都宮駅を中心としたエリアと、二荒山神社、東武宇都宮駅を中心とした繁華街の二つがありますが、効果的にこの二つのエリアを繋いでいる通りや交通手段がなく、分断されてしまっています。その結

果、メイン通りとされている通りが機能せず、様々な形、用途の建物が点在してしまったため、ちぐはぐな、なんとなく色のない景観になってしまったのではないかと思います。

しかし、宇都宮は現在LRTをはじめ、宇都宮駅東口、西口の再開発や東武宇都宮駅、二荒山神社周辺の整備など、多くが計画されているようです。私はその開発の中で街並みが整備され、新しい宇都宮の色が表れてくると期待しています。

都市の発展には建設業が必要不可欠であり、私たちはそれらに大きく貢献していかなければなりません。LRTや再開発には反対の意見もあるようですが、都市も人と同じように代謝を繰り返します。変化していくということに初めは労力を使うことや、慣れないことが多いですが、これからの人々ために、今頑張らなくてはならないと思います。

これからの建設業界は少子高齢化や担い手不足の問題で施工の仕方、考え方を大きく変えなくてはならない時期に差し掛かっていると感じます。自分自身も宇都宮の街のように変化していくことを大切に、未来の人々のために貢献できるように頑張っていきたいです。

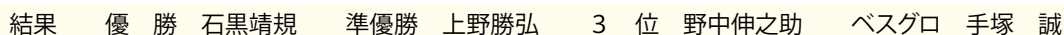
宇都宮建設業協会 歴代会長 栄誉ある受章



入江氏は大幹建設㈱代表取締役会長としての職務に加え、栃木県建設業協会副会長としても活躍されている。栃木県建設業協会においては建設業諸問題研究会担当の副会長として、われわれ建設業界を取り巻く多くの問題解決のために精力的に取り組まれている。

2018.12.26 水

腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も参加でき、協会員同士交流を深めることができた一日となりました。また来年も開催したいと思いますので、皆様のご参加をお願いしたいと思います。



(亀和田)

謹んで新年のご挨拶申し上げます。今年も「けんせつ宇都宮」をよろしくお願いいたします。ラグビーワールドカップ2015では、日本代表が予選リーグ初戦で南アフリカに勝利し世界的な話題となりました。予選リーグ3勝という素晴らしい成績を収めたが、決勝トーナメント進出は叶いませんでした。しかし、その戦いに日本中が感動しラグビーブームが最熱しました。そして今年は、ラグビーワールドカップの歴史上、初めて日本で開催されるラグビーワールドカップ2019の年です。ラグビーワールドカップは、夏季オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ規模となる世界三大スポーツイベントのひとつです。ラグビーファンの私にとっては、わくわくドキドキのシーズンになりそうです！（渡邊）

一般社団法人 宇都宮建設業協会

会 長 増 淵 薫 副会長 菊池 三紀男 竹内 智祐 野澤 充広

イ	商	業設設設業造工設業設設工田建業
セ	本	興建建建工水生建工建建和重工
ウ	熊	平正野田田清新豐陽長幹榮高田安
ヨ	興	
キ	(株)	小三鹿柴(株)晉上末成大(株)(有)
ク	(株)	

建設木業(株)店(株)組(株)設業(株)(株)設(株)(株)組(株)
 建建土產業務建業建實設建設業建野一ヶ
 田力工工嶋
 晃葉設土工野澤建原建產土ソ
 野ッ建井長
 大千津舗直村豊庭野中賀福井井橋星江堀
 (有)(株)(株)枋(株)(中)(株)日(株)(株)野芳(株)藤藤古(株)(株)

組設組	株業業	株業設	株組	株株	株株株	株株株
刈建	業設	興工	建設設	口設設	設設業	園設設
刈工	建雪	重建建	建建建	工造建	建建建	建建建
增丸	山美	元田	幡山	本西	山弥	林晃
鱒山	工	若	若	若	若	若
株株株	丸ミ	株株株	矢八	株山	陽横	米和
株株株	株株株	株株株	株株株	株株株	株株株	株株株

■印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：fff@olive.ocn.ne.jp

